



280

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年9月21日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

イスラエルとパレスチナの和解を目指し 「被害者意識の牢獄」を超えて

21日(日)=1、3面



スキンシップを盛り込んだゲームで、互いの「距離」を縮めていく＝長崎県平戸市で、認定NPO法人「聖地のこどもを支える会」提供

戦闘が続くイスラエルとパレスチナの間で、対話によって相互理解を深めていこうとする人々を描きます。日本のNPO「聖地のこどもを支える会」は、イスラエル人とパレスチナ人らを招いて長崎などを旅行し、交流の試みを続けています。

一方、紛争が続く現場には厳しい現実があります。パレスチナ人の男性(56)はイスラエル軍に手りゅう弾を投げた容疑で刑務所に入れられ、出所後、イスラエル国境警備隊に娘(当時17歳)を撃たれて亡くしてしまいます。また、イスラエル人の男性(74)もかつて、ハマスのテロにより娘(当時14歳)を失いました。娘を失った男性2人が出会い、そこで話したこととは――。



迫る

そこが聞きたい

障害・アートを知的財産に

21日(日)=くらしナビ面

「障害は『違い』になる」と語る松田崇弥さん。首に巻くのは契約作家のアートをデザインに起用したスカーフだ



「異彩を、放て。」をミッション(使命)に掲げ、双子の兄弟が岩手県で起業した「ヘラルボニー」が国内外に翼を広げています。主に知的障害があるアーティストの作品を知的財産(IP)と捉える新たなライセンスモデルを構築しました。双子の弟で共同最高経営責任者の松田崇弥さんは「障害を『違い』に変え、障害とアートの可能性を追求していきたい」と力を込めます。

年度をまたいだ比較が可能な学力調査で、2024年度の小学6年生と中学3年生のスコアが3年前に比べ低下しました。文部科学省は新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったと推

論点

「学力低下」背景は

24日(水)＝オピニオン面

測していますが、それだけが必要因ではないという指摘もあります。本当に子どもの学力は低下したのか、またスコア低下の背景に何があるのか、3人の専門家に尋ねました。

特集 ワイド

社会学者・富永京子さんが語る 社会運動のこれから

22日(月)=タ刊2面



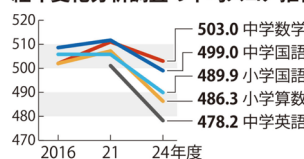
7月の参院選を経て自民・公明両党が衆参両院で少数与党に転落し、政治の不透明さが増しています。外国人やマイノリティへの排外的な主張を繰り返す参政党が躍進したことに対し、驚いた人たちも少なくないかもしれません。でも、社会運動に詳しい立命館大の富永京子准教授は「写真Ⅱ」は「政治的不安定さを脅威として捉えるよりも、大切なことがある」と説きます。どういうことでしょうか。真意を尋ねました。

竹橋の
窓辺から

編集後記

今年のノーベル賞は10月6日から発表が始まります。昨年は韓国の作家、ハン・ガンさんがアジア女性初のノーベル文学賞を受賞しました。登壇者に作家というせいこうさんと、韓国文学を日本に広めた株式会社クオンの金承福(キム・スンボク)代表を迎え、韓国文化と文学の担当記者も交えたオンラインイベントを9月29日19時より開催いたします。お申し込みはQRコードから。(丸山長彦)

経年変化分析調査の平均スコア推移



※文部科学省まとめ。英語は21年度から

毎日新聞

